

◆事務局◆
名古屋市中区新栄一丁目4番10号
愛知県教育委員会6階
TEL: (052) 261-5886
FAX: (052) 241-7048
【印刷】
手島印刷株式会社
TEL: (052) 522-1635

大切なのは自己肯定すること

愛知県公立高等学校PTA連合会
会長 長保 永真生



日頃から愛知県公立高等学校PTA連合会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和3年度会長を務めさせていただきました豊橋西高等学校PTAの保永です。

新型コロナウイルスの影響により、学校生活も様々な行事が行えず、PTA活動につきましても多くの活動が中止となり絵巻も行えず書面決議となりました。

昨年同様、コロナ禍にも、使命感を持ち医療に従事して下さっている医療関係者の皆様に敬意を表します。本当に苦しい状況です。今回は「自己肯定」についてお話しします。日本人は「自己肯定感」とは対照的な「自己否定感」を持つ人が多いとされています。

子育てにおける「守破離」

愛知県公立高等学校校長会
会長 柴田 悦己



愛知県高P連の皆様には、日頃から本校の充実に向けて、多大な御支援をいただき、心から御礼申し上げます。

さて先日、「第十折々のた」(大岡信著、岩波新書、平成四年九月初版)をひと目と見ていると、次の句にふと目が止まりました。

「帯」(ほして延びる 木の芽かな 有井井九)

この句の解釈には、「しだいにふくらみはじけた木の芽に、春雨がやわらかくかかる。一滴垂れるたびに、芽も一緒にひき延ばされていく感じ」と記されています。

しかし視点を変えてみると、この句は、「守」るよう覆つてきた水滴を、まるで「破」るようにはじけながら上へと延びようとする小さな木の芽を詠んだものと解釈することもできます。

もしこの読み方が許されるならば、「延びる木の芽」に子どもたちの姿を見て、伸びゆくこととしている子どもたちが親や学校から「離」れる瞬間を捉えた句であり、

「自分に自信がない、人と比べて劣等感がある、自己主張ができず人に合わせる、何事も否定的な見方しかできない」などです。傾向として家庭、友人、学校での対人関係などで自分を褒めてくれる人がいない、心根がやさしい性格の子供などに見られます。僕も「自己否定人」でしたが、とあるきっかけから自分が足りず至らないのか考えてみました。それは「愛してはくれば自分か愛する」こと、かまわなければ自分かから困っている人に手を差し伸べ、救ってあげれば先に人を救う、などでした。自分から率先して人のために行動することが足りなかったのです。何も出来ずとも言葉で人を救うことも出来ず。言葉で人を救うことも出来ず。言葉を尊重し心温まる優しい言葉をかけてあげたり、つらい状況にある人を励ましてあげることがあります。日本語とは良くできた言葉ですので上手に使ってみてください。

「自分が自信がない、人と比べて劣等感がある、自己主張ができず人に合わせる、何事も否定的な見方しかできない」などです。傾向として家庭、友人、学校での対人関係などで自分を褒めてくれる人がいない、心根がやさしい性格の子供などに見られます。僕も「自己否定人」でしたが、とあるきっかけから自分が足りず至らないのか考えてみました。それは「愛してはくれば自分か愛する」こと、かまわなければ自分かから困っている人に手を差し伸べ、救ってあげれば先に人を救う、などでした。自分から率先して人のために行動することが足りなかったのです。何も出来ずとも言葉を尊重し心温まる優しい言葉をかけてあげたり、つらい状況にある人を励ましてあげることがあります。日本語とは良くできた言葉ですので上手に使ってみてください。

武道などの技量を高めていく段階を示す言葉「守破離」を子育ての中に別の形で見いだすことができる「ソーシャルディスタンス」が意識され「新しい生活様式」の中にすっきり定着するとともに、まもなく「十八歳成年制」が施行されるようにしている今、家庭と学校がともに子どもとの距離感を省みることが、意味あることだと思います。

教育の目的が子どもたちの将来の社会的自立にあることは言うまでもありません。自立とは離れることの意味であり、人間の成長の証でもあります。また、成長を願うからこそ、ときに、離れたところから黙して見守る姿勢が求められます。

最後に、皆様からの一層の御支援をお願いし、挨拶いたします。

タテのカギ

| | | | |
|----|----|---|---|
| 1 | 2 | 3 | 4 |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | 8 | 9 | |
| 10 | 11 | | |
| 12 | | | |

① 断熱材、保温材等使用されているが、健康被害が大きな問題に!
② 輪廻転生を受ける間は禁止
③ 河川や湖の部分が段差になつて水がたまりやすい場所
④ わざと人に逆らふ行動をする人
⑤ 重さの単位
⑥ 愛宕(若人)コト、舞の強い舞

ヨコのカギ

⑦ セミ○○○○。一般的に、定年退職前に退職すること
⑧ 干し柿に使用される柿は?
⑨ 費人に対して尊敬の気持ちを持って呼ぶ言葉
⑩ ○○○。漢字では「太刀魚」と書きます
⑪ 加熱調理器具、電子○○○
⑫ 物事の動作、作用、状態などを表す語
⑬ 四年に一度、スポーツの祭典

クロスワードパズル

の空字を並べ替えてみる
言葉は? (答えになりませぬ)

PTAの皆様へ

愛知県教育委員会
教育長 長谷川 洋

愛知県公立高等学校PTA連合会の皆様には、日頃から本県の教育活動の推進に御理解と御協力を賜り、深謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る対応につきまして、特に、学校、御家庭において、お子様の安全・安心の確保や学習機会の保障に御協力をいただいておりますこと、改めて御礼を申し上げます。今後とも、「子どもたちの学びを止めない」ということを念頭に、万全の感染症対策を講じながら教育活動の充実を図ってまいります。

さて、愛知県教育委員会では、今年度の2月に本県の第四次教育基本計画となる「あいちの教育ビジョン2025」を策定しました。

この新しい教育ビジョンでは、「自らを高めること」と「社会の担い手となること」を基本に、かけがえのない生命や多様な人々の存在を尊重する豊かな人間性と「知徳体」にわたる「生きる力」を育むことを愛知の教育目標として掲げます。今年度は計画初年度として、学校、地域、家庭と連携しながら様々な施策を実施してまいります。

その一つとして、スクールカウンセラーおよびスクールソーシャルワーカーを増員して配置することで、子どもたちが抱える多様な問題に対応する相談体制の充実を図ります。

昨年度から進めております、タブレット端末の配備、校内LANの整備、大型提示装置の配備等、ICT環境の整備と活用推進では、10校の高等学校を研究指定校として、この学校を中心に効果的なICT教育を促してまいります。

また、高等学校においては、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指し、研究を行う「あいちラーニング推進事業」について、昨年度指定した12校の主要校に加え、今年度は新たに25校の研究重点校を指定しました。今後順次研究校を増やし、5年間で全県立高校で「主体的・対話的で深い学び」の実現を図ります。

特別支援学校においては、西尾市に来年年度開校予定の特別支援学校の新築や知多地区聖学校分校の実施設計等、環境整備のほか、就労アドバイザーや看護師の増員により就労支援のさらなる充実や医療的ケアが必要な子どもたちへの対応を図ってまいります。

感謝の意を込めて申し上げます。特別の危険は依然として存在しておりますが、今一学校、地域、家庭が連携し、ウイズコロナの新しい生活様式に即した教育を確立しなければなりません。PTAの皆様には、今後とも、御理解、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年度 定期総会・PTA指導者研修会報告

○定期総会(書面議決)報告
令和3年5月28日(金)に開催を予定しておりました今年度の愛知県公立高等学校PTA連合会定期総会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて「愛知緊急事態措置」が実施されたことに伴い開催を中止し、議決事項である五つの議案については書面議決により、次のとおり承認をいただきました。

〈第一号議案 令和2年度事業報告〉
〈第二号議案 令和2年度決算報告〉
令和2年度の理事会、定期総会、広報・健全育成委員会の報告、高P連だよりの年3回の発行、5地区の研修会の実施状況、東海・全国高P連大会の開催状況等が報告され、各会計の決算報告が承認されました。

〈第三号議案 令和3年度役員〉
県内5地区から選出された会長始め27名の役員が承認されました。

四役の皆さん
会長 保永 真生(豊橋西高P)
副会長 松下 由花(尾北高P)
副会長 佐野 仁信(岡崎西高P)
副会長 小林 整次(校長会代表)
副会長 大見 龍史(豊橋商業高P)
監事 篠塚 典幸(春日井高P)
監事 宮崎 千智(東海南高校長)

〈第四号議案 令和3年度事業計画〉
〈第五号議案 令和3年度予算〉
令和3年度の事業計画及び予算が原案どおり承認されました。

○PTA指導者研修会及び「互いに学び、楽しくつながるPTA活動」表彰式・発表会
例年、定期総会に併せて開催しておりましたPTA指導者研修会と「互いに学び、楽しくつながるPTA活動」表彰式及び発表会は、県教委生涯学習課の先生方の全面的な御協力によりオンライン方式で実施し、京都芸術大学教授の本間正人先生によるご講演、また、表彰校である佐屋高等学校、港特別支援学校各PTAの代表の方から活動内容の発表をいただくとともに、黒田会長から表彰状が授与されました。

愛知県立 豊橋商業高等学校 PTA

学校紹介

愛知県立 尾北高等学校 PTA

創立百十五年を迎える豊橋商業高校は三万四千名を超える卒業生を送り出し、地元経済界のあらゆる分野で同窓生が活躍する東三河の伝統校です。校訓「以信為本」の精神のもと、時代の進展に対応できる幅広い教養と高度な技能を備えた職業人を育成しています。部活動も盛んで、弓道は毎年インターハイに出場し、過去四度の団体優勝を誇っています。さらには簿記、情報処理といった商業高校ならではの部活動があり、全国大会出場だけでなく、大学レベルの高度な資格を取得しています。生徒は学校行事に積極的に参加し、青春を謳歌しています。



学校風景



PTA 活動風景

PTA役員を中心に企画され、見聞を広め、会員相互の親睦を大いに深めています。PTA活動のメイン行事は文化祭で行う「どん汁」です。五百食を超えるどん汁、うどん、特別メニューを提供するため、器材の調達に始まり、前日の仕込み、当日の大鍋での調理を行います。そして、午前10時の開店と同時に押し寄せる生徒たちの「美味しい」笑顔が、PTAの遣り甲斐に繋がります。来年はもっと良い活動を発展させていきます。

T A役員を中心に企画され、見聞を広め、会員相互の親睦を大いに深めています。PTA活動のメイン行事は文化祭で行う「どん汁」です。五百食を超えるどん汁、うどん、特別メニューを提供するため、器材の調達に始まり、前日の仕込み、当日の大鍋での調理を行います。そして、午前10時の開店と同時に押し寄せる生徒たちの「美味しい」笑顔が、PTAの遣り甲斐に繋がります。来年はもっと良い活動を発展させていきます。

尾北高校は、今年度創立百周年を迎えます。大正十年（一九二二）に、愛知県丹羽郡高等女学校として誕生し、大正十二年に県立に移管されて、愛知県丹羽郡高等女学校と改称しました。そして、昭和二十二年（一九四七）に学制改革により、愛知県立丹羽高等学校と改称しました。昭和十六年（一九四一）に創立された古知野町立古知野高等実践女学校が、昭和二十三年に学制改革により愛知県立古知野高等学校と改称し、同年十月には、丹羽高等学校と古知野高等学校が統合し、愛知県立尾北高等学校と改称し、現在に至っています。統合時は、普通科、家庭科、商業科の三学科十八学級でしたが、現在は家庭科、商業科はなく、平成十八年（二〇〇六）の文部科学省スーパーハイスクールの指定を経て、普通科、国際教養科の二学科二十学級が設置されています。



学校風景

本校のPTAは、会長をはじめ学年代表を含む十一名の役員と委員（予算会計、会計監査、広報、学習指導、生徒指導、文化）約七十名を中心に活動しています。P

本校のPTAは、会長をはじめ学年代表を含む十一名の役員と委員（予算会計、会計監査、広報、学習指導、生徒指導、文化）約七十名を中心に活動しています。P



100周年 ホームページ



100周年 インスタグラム

令和3年度 アートフェスタ -愛知県高等学校総合文化祭- 愛知芸術文化センター 〇8月17日(火)~8月22日(日) 〔昨年度 美術、工芸 美術館ギャラリー〕 ◆文芸部門 21日(土) アートスペース ◆展示部門 17日(火)~22日(日) 美術館ギャラリー ◆舞台部門・パネル部門 Web開催 令和3年10月ごろから愛知県高等学校文化連盟のYouTubeチャンネルで保護者・学校関係者を対象に限定公開

公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 からのお知らせ ①発達障がい理解講座 ②不登校関連講座 ③あいち教育スポーツ 講師：公認心理師 臨床心理士 野田美帆 募集期間：7月19日(月)~8月10日(火) 講座：セミナーの共通事項 開催時間：午前10時~正午 定員：①30名 ②10名 参加料：無料 申込方法：当財団申込フォーム、所定の申込用紙をFAXまたは郵送

ユネスコスクール交流会 〇10月16日(土) 13:00~16:00 ウイルあいち (入場無料) ある各種学校の児童・生徒・学生、教職員、行政、団体が一か所に集うユネスコスクール交流会をオンラインを併用して行います。ユネスコスクールの活動事例発表や基調講演等を通して、SDGs実現のために、我々ができることは何かを一緒に考えます。 ※開催内容は予定であり、変更になる可能性があります。

事務局 だより 令和3年度PTA切符発表 各学校でPTA会長を務められた150名の皆様に表彰状が、連合会役員を終えた12名の皆様には感謝状が学校を通じて贈呈されました。 〇行事の変更等について 新型コロナウイルスの影響により、行事の急な変更等も考えられ、その都度ご連絡しますのでご理解のほどお願いします。

広報委員会 委員長 松下 由花(尾北) 委員 大見 龍史(豊橋商業) 中野 隆文(常滑) 伊藤 英明(熱田) 伊藤 篤(二色)

編集後記 令和2年春に始まった新型コロナウイルス感染症の流行から一年半が経過しましたが、各学校におかれましては、多くの混乱の中にも工夫を凝らした教育活動やPTA活動の取組みを推進されていることと思います。今年度の県高P連定期総会は、国による緊急事態宣言の決定を受け、愛知県においても緊急事態措置が発出されたため、昨年度に引き続き当面による開催となりました。昨年度中止したPTA指導者研修会と「互いに学び、楽しむ」がPTA活動の活動事例発表については、県教育委員会生涯学習課の先生方の全面的な御協力によりオンライン開催が実現しました。